

令和 4 年度主な子育て支援事業について（子育て支援課）

（1）保育士等人材確保事業【継続】 1, 317 千円

- ・高校生や保育士養成校の学生及び潜在保育士を対象とした就職ガイダンスを開催する。また、保育士のスキルアップを図るため、若手保育士を対象とした研修会を行う。

（2）子どもの貧困対策推進事業【継続】 1, 495 千円

- ・ひとり親家庭の子ども及び生活困窮家庭の子どもを対象に学習支援を行い、学習の機会が確保され将来的な進学の可能性も高まることを目指す。

（3）病後・病後児保育事業【継続】 21, 606 千円

- ・病気または病気の回復期で、生後 3 か月から小学 3 年生までの集団保育が困難な子どもをあきほ病児・病後児保育所（専用施設）において一時的に預かる。また、急な体調不良に対応した、看護師によるタクシーでの病児送迎サービス、および受診付添いサービスを実施する。

（4）発達障がい児及び家族等支援事業【拡充】 1, 886 千円

- ・研修型ペアレント・プログラムの実施により、保育士等が支援技術を修得し子どもの発達に悩み子育てに難しさを感じている保護者の助けとなることを目指す。令和 4 年度からは、プログラムの参加対象を市内在住の 2 歳から就学前の子ども
の保護者に拡大する。（令和 3 年度までは、市立保育園在園児童の保護者を対象
に実施。）

（5）特別保育事業【継続】 266, 320 千円

- ・延長保育、病児・病後児保育、一時預かり、障がい児保育、幼稚園型一時預かりなどの特別保育を計画的に実施する民間立の特定教育・保育施設に対して補助金を交付する。

（6）放課後児童健全育成事業【継続】 258, 627 千円

- ・放課後児童クラブの運営にかかる業務委託等を実施するとともに、放課後児童クラブを利用する保護者のうち要件に該当する者への保育料補助を行う。

（7）生理用品サポート事業【継続】 888 千円

- ・生理用品を準備することが困難な女子児童生徒及び成人女性に、学校の保健室や市相談窓口において無償で配布し、負担軽減を図る。